

経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県秩父市 三峰駐車場

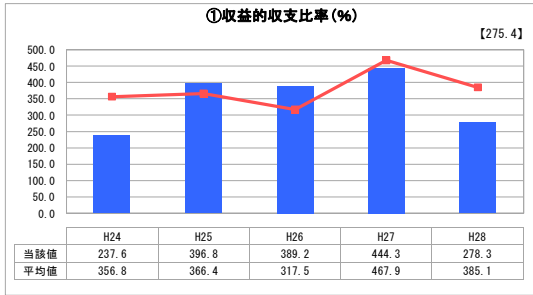
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	10	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
無	無	9,086
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
250	1,540	導入なし

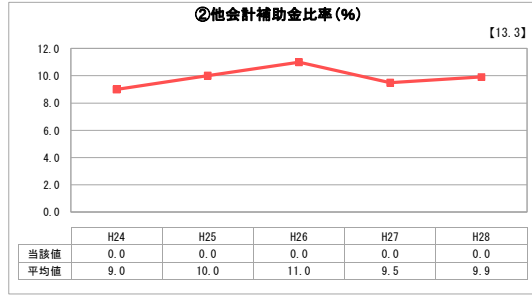
グラフ凡例

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

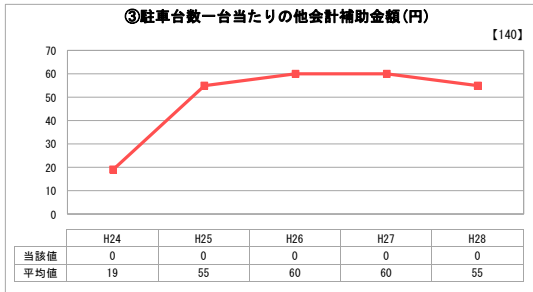
1. 収益等の状況



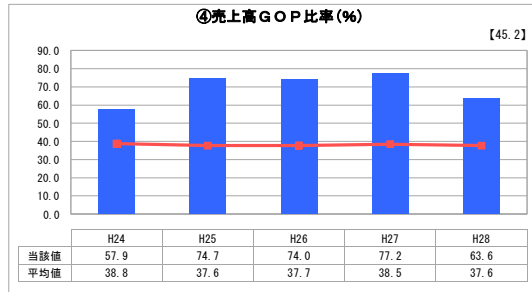
「経常損益」



「他会計補助金割合」

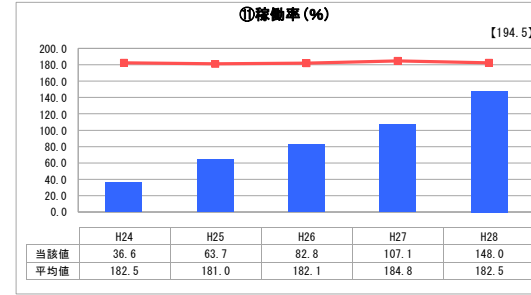


「他会計補助金額」

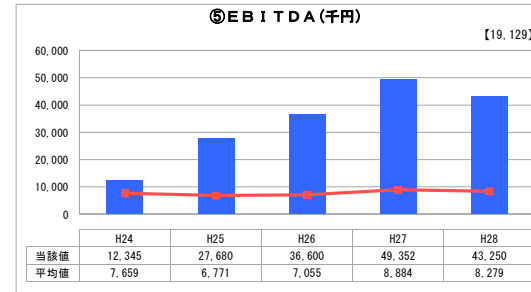


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況

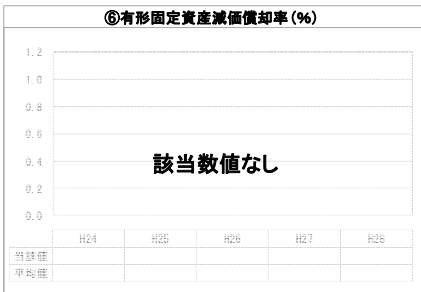


「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



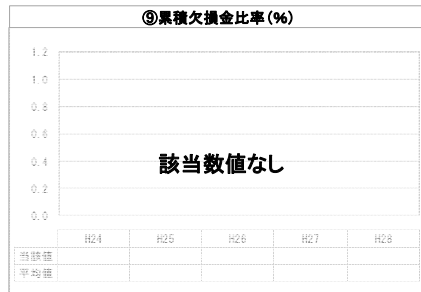
「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

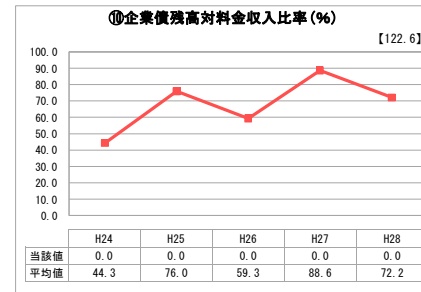
28,348

⑧設備投資見込額(千円)

30,000



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 ①経常収支比率については、100%を超えており、平成28年度は駐車場内のトイレ建設費用が高み収益的比率が減少したが、健全性は十分に確保されていると考えられる。②他会計補助金比率、③駐車台数一台当たりの他会計補助金額は、当施設は他会計補助金を繰り入れていないためである。④売上高GOP比率については、当施設は類似施設平均を超え、施設の営業に関する収益性は高いと判断できる。⑤EBITDA（減価償却前営業利益）については当施設は類似施設平均より高いことにより、本業の収益性は高いと判断できる。ここ数年より毎月1日は、三峯社が頒布する「氣守り」人気で、駐車場利用者が増え料金収入が伸びている。また、平日の利用者も多くなっている。

2. 資産等の状況について
 ⑥有形固定資産減価償却率については、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため指標は算出されません。⑦敷地の地価については、固定資産台帳等によるものです。⑧設備投資見込額については、今後10年間の駐車場整備等を見込んでいる。⑨累積欠損金比率については、当施設については地方公営企業法非適用事業であるため指標は算出されません。⑩企業債残高対料金収入比率については、当施設は企業債残高が無いため指標は算出されません。

3. 利用の状況について
 ①稼働率については、当施設は類似施設平均を下回っているが、徐々に右肩上がりになってきている。当施設の設置している三峰地区については、当施設以外の駐車場施設が皆無であり、需要はあると考えられる。ここ数年より毎月1日は、三峯社が頒布する「氣守り」人気で、利用者が急増している。また、平日でも駐車場の利用者が増えている。

全体総括

当施設については、三峰地区に昭和62年県道の編入に伴い、駐車場施設を旧大滝村当時（現秩父市）に譲り受け、村営駐車場（現市営）として管理運営を行っている。収益の状況については、独立採算により運営されており、利用状況も施設の稼働率も年々右肩上がりになっている。施設の適正規模や抜本的な改革について、今後検討していく。